

平成20年1月30日

各位

会社名 株式会社 新生銀行  
 代表者名 代表執行役社長 ティエリー ポルテ  
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

### 平成20年3月期 第3四半期決算について

平成20年3月期第3四半期(9ヶ月)の連結四半期純利益は、335億円(前年同期471億円)となりました。キャッシュベース連結四半期純利益\*は、420億円(前年同期601億円)となりました。

当行社長のポルテは以下のとおり述べています。「当第3四半期、主要業務は堅調に推移しました。業務粗利益は、米国住宅ローン市場におけるエクスポージャーの評価減などを受け減少し、貸倒引当金も同様の理由で増加しました。同市場の環境は不透明な状況が続いておりますが、かかる処理は概ね一過性のものと考えており、当行としては、将来の発展へ向けた最適な選択を既に実行していると確信しております。」

平成20年3月期連結第3四半期決算の要点、概要は以下のとおりです。

(特段の注記がない限り、以下内容は連結ベースで記載しております)

#### 1. 平成20年3月期第3四半期連結業績の要点

(単位:億円、%)

	平成20年3月期 第3四半期 (9ヶ月)	平成19年3月期 第3四半期 (9ヶ月)	増減率
業務粗利益	2,089	2,157	3.2%
経費	1,176	1,125	+4.5%
経費率	56.3%	52.1%	-
実質業務純益	913	1,032	11.6%
四半期純利益	335	471	28.9%
キャッシュベース四半期純利益*	420	601	30.1%
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益(円)	18.33	24.29	24.5%
同キャッシュベース(円)	22.97	30.98	25.9%
ROE(潜在株式調整後、年換算ベース)	6.9%	7.8%	-
ROA(年換算ベース)	0.4%	0.6%	-
	平成19年12月末	平成19年3月末	増減率
総資産	118,481	108,376	+9.3%
潜在株式調整後1株当たり純資産(円)	355.25	355.09	0.0%
自己資本比率(パーゼルII、F-IRB)	12.10%	13.13%	-
Tier I 比率	7.45%	8.11%	-
金融再生法上開示不良債権比率(単体)	0.71%	0.53%	-

\* 中間純利益からのれんに係る償却額及び無形資産償却とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたもの

## 2. 財務の状況 ~ 堅固な資本基盤を維持した持続的成長 ~

平成 19 年 12 月末の当行の**総資産**は、主にコールローン、貸出、そして有価証券の増加に伴い平成 19 年 3 月末(10 兆 8,376 億円)比増加し、11 兆 8,481 億円となりました。コールローンは、平成 19 年 12 月末時点で 5,447 億円となり、平成 19 年 3 月末(431 億円)比増加し、貸出残高については、住宅ローンなどの増加により平成 19 年 12 月末には 5 兆 5,036 億円となり、平成 19 年 3 月末(5 兆 1,463 億円)比増加いたしました。また、有価証券は平成 19 年 12 月末には 2 兆 478 億円となり、同 3 月末(1 兆 8,546 億円)比増加いたしました。この増加の一部はポートフォリオの分散に向けた外国債券への投資によるものです。

**預金(譲渡性預金を含む)残高**は、平成 19 年 3 月末比 7,774 億円(14.3%)増加し 6 兆 1,983 億円となりました。当行ではリテールや法人のお客さまからの預金などを中心に、資金調達源の多様化を進めてきており、リテールバンキングのお客さま並びに法人のお客さまからの預金残高は、平成 19 年 12 月末時点で、それぞれ 3 兆 8,266 億円、2 兆 3,717 億円となりました。

当行の資本基盤は引き続き堅固で、平成 19 年 12 月末現在、バーゼル 基準での**連結自己資本比率(国内基準)**は 12.10%、**Tier 比率**は 7.45%となっております。

## 3. 損益の状況 ~ 堅調な業務粗利益と経費管理 ~

当第 3 四半期(9 ヶ月)の**業務粗利益**は、米国住宅ローン市場におけるエクスポージャーの評価減や、特定取引利益の減少等により非資金利益が低下したことから、前年同期比 3.2%減の 2,089 億円となりました。当第 3 四半期の**経費**は、連結子会社である株式会社アプラス(以下「アプラス」)において引き続き経費の合理化を行ったものの、インスティテューショナルバンキング業務において商品開発や顧客サポートの強化拡充を図ってきたこと、連結子会社となったシンキ株式会社(以下「シンキ」)の経費が連結会計上 2007 年 10 月 1 日より含まれたことなどから、前年同期比 4.5%増の 1,176 億円となり、経費率は前年同期の 52.1%に対し、56.3%となりました。

当第 3 四半期における**クレジット・コスト**は、前年同期比 211 億円増加し 407 億円となりましたが、これは米国住宅ローン市場向けエクスポージャーに係る貸倒引当金の計上などを反映したものです。買収したコンシューマーアンドコマースファイナンス子会社に関わる**のれん・無形資産の償却額**は、主に平成 19 年 3 月末に実施したのれん・無形資産の減損処理に伴い、前年同期が 154 億円だったのに対し、当第 3 四半期は 94 億円となりました。

**その他利益、法人税等**には、ライフ住宅ローン株式会社(以下「ライフ住宅ローン」)の株式売却益 203 億円による影響が含まれております。**少数株主利益**は当第 3 四半期において 156 億円となりました。

その結果、**連結当第 3 四半期純利益**は、335 億円(前年同期 471 億円)となりました。

## 4. 各業務分野(ビジネスライン)別損益状況

### インスティテューショナルバンキング ~ 堅実な貸出需要と預金増 ~

インスティテューショナルバンキング業務におきましては、貸出の需要が堅調に推移し、法人預金も順調に推移しました。当第 3 四半期の**業務粗利益**は、前年同期には株式売却益が含まれていたことや、米国住宅ローン市場におけるエクスポージャーの評価減により、812 億円(前年同期 942 億円)となりました。実質業務純益は、既述の理由や、主にビジネスの拡大に向けた要員増加により経費が増加したことから、427 億円(前年同期 611 億円)となりました。クレジット・コスト加算後実質業務純益は、主に米国住宅ローン市場向けエクスポージャーに係る貸倒引当金の計上により、前年同

期(753 億円)比減少し、400 億円となりました。

### コンシューマーアンドコマーシャルファイナンス ～質の高い顧客層にフォーカス～

コンシューマーアンドコマーシャルファイナンスにおける貸出残高は、第 1 四半期におけるライフ住宅ローンの売却はありましたが、シンキが連結子会社となったことによる貸出金の増加により、平成 19 年 12 月末には 4,256 億円と平成 19 年 3 月末(4,249 億円)比、ほぼ横ばいとなりました。

コンシューマーアンドコマーシャルファイナンス業務における、第 3 四半期の業務粗利益は、連結会計上 10 月 1 日より子会社となったシンキの収益が含まれたことから、934 億円と、前年同期 916 億円比増加いたしました。また、実質業務純益も主にアプラスの経費削減により、前年同期(403 億円)比増加し、450 億円となりました。当第 3 四半期のクレジット・コスト加算後実質業務純益は、横ばいの 88 億円(前年同期 88 億円)となりました。

### リテールバンキング ～顧客基盤の継続的拡大と収益構造の多様化～

主に住宅ローンで構成される、リテールバンキング業務における貸出は、同ローンの順調な増加により、平成 19 年 12 月末には 8,212 億円と、平成 19 年 3 月末(6,395 億円)比 28.4%増となりました。平成 19 年 12 月末時点における当行パワースマート住宅ローン顧客数は 33,000 名を超えております。預り総資産は、リテールバンキング業務における預金の堅調な推移や、投資信託、変額年金等における預り資産の増加により、平成 19 年 3 月末比、増加しました。平成 19 年 12 月末現在、リテールバンキングの口座数は 210 万口座超となっております。

当第 3 四半期、リテールバンキング業務におきましては、資金利益が増加する一方で、仕組預金関連収益の落ち込みにより非資金利益が減少し、業務粗利益は 258 億円(前年同期 273 億円)となりました。業務粗利益が減少する一方で、店舗等の拡充による経費の増加やお客さまの増加による変動費の増加もあったことから、実質業務純損失 44 億円(前年同期は、実質業務純損失 11 億円)となりました。

## 5.平成 20 年 3 月期業績予想

平成 20 年 3 月期の連結当期純利益予想を 620 億円から、500 億円に下方修正いたします。これは、主に 10 月～12 月の四半期において米国住宅ローン市場におけるエクスポージャーの評価減を計上したことによるものです。なお、単体の当期純利益予想に変更はございません。

当第 3 四半期決算に関する詳細については、以下当行 URL(「説明会」メニューの中の「平成 19 年度(2007 年度)第 3 四半期決算発表」)をご覧ください。

URL: [http://www.shinseibank.com/investors/ir/meeting/meeting\\_2007/presentations\\_2007.html](http://www.shinseibank.com/investors/ir/meeting/meeting_2007/presentations_2007.html)

以 上